まちの話題

道路愛護の心で、通りを美しく

～８月10日「道の日」市街地の道路パトロール

８月は、全国一斉に「道路ふれあい月間」と定められています。その中で、８月10日は「道の日」に定められており、この日は市、国道指宿維持出張所、警察署、消防署、商工会議所などの関係者が、市街地の幹線国県市道の道路パトロールを実施し、道路清掃・不法占用・看板などの指導・取締りを行いました。また、枕崎建設業組合（19社加盟）も県道枕崎知覧線（瀬戸地区）や市道若葉通線の高木伐採などのボランティア作業を行いました。

市民の皆さんも、道路上（側溝・歩道を含む）に植栽のプランター・プロパンガスなどを置かないこと、また、垣根などが道路にはみ出さないようにせん定するなど、道路愛護に努めていただくようお願いします。

海外での貴重な体験をいきいきと報告

～女子生徒２人が県青少年国際協力体験事業の体験報告

県青少年国際協力体験事業で、ベトナムを訪れていた田畑美紗貴さん（枕崎中２年）と朝田清子さん（枕崎高１年）が８月13日、市役所で市長への報告を行いました。

この事業には、県内の中高生17名が参加。７月22日から29日の日程で、ベトナムの農村での民泊や青年海外協力隊の活動の視察を行いました。２人は、現地での活動の様子や感じたことを報告。文化の違いを感じながらも、「言葉は通じなかったが、ホームステイの人が優しく話を聞いてくれた」「障害児の通う学校で日本語教師をしている協力隊の方の仕事に感銘を受けた」と語っていました。二人の未来にとって、貴重な体験となったことでしょう。

食育の大切さ広めたい

～「枕崎の食を考える会」発足

「枕崎の食を考える会」（山崎巳代治代表）が、今年６月に結成されました。

食と健康に関するいろいろな問題が取りざたされる中、「食」に関する様々な活動を通して、生涯を通じた健全な食生活の実現、枕崎の素晴らしい食文化の継承、地産地消の拡大等を目指すため結成されたものです。現在、団体会員や個人会員合わせて約50人が参加しています。

８月18日には、健康センターで「魚のさばき方教室」（左写真）を開催し、親子連れなど約30人が参加しました。枕崎市漁協職員・揚野功さんの、楽しいながらもわかりやすい指導を受け、子どもたちは、悪戦苦闘しながらも、サバの三枚おろしなどに挑戦しました。

今後の活動については、10月８日（月・体育の日）は午後２時から、サンフレッシュ枕崎で、ＮＰＯ霧島食育研究会代表・千葉しのぶさんを講師に招き食育に関する講演会を行います。

また、11月25日（日）には「食の祭典」の開催も計画しています。

ぜひ、皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。

問合せ　「枕崎の食を考える会」事務局　市企画調整課　寺園　TEL72-1111　内線226

山口公民館で子ども棒踊りを披露

～初めて女子児童も参加し、元気に舞う

投稿者：山口公民館

８月14日、山口公民館で子どもたちによる棒踊りが披露されました。山口に伝わる棒踊りは、本来秋の豊祭に奉納されるものですが、終戦記念日に合わせ、40年ほど前から中高生の男子により供養踊りとして始められました。

戦後50年を節目に慰霊祭はなくなりましたが、踊りだけでも存続して欲しいと言う声があり、育成会が中心になって郷土芸能を伝承する形になりました。当初はたくさんいた踊り手も、今年は男子だけでは足りず、小学３年生の男子から５、６年生の女子、帰省中の大学生まで参加してやっと３組18人集まりました。子どもたちは、お父さんたちから特訓を受け、何とか本番に間に合いました。

藤田茂館長は「今年から女の子も踊ることになりましたが、立派な踊りを見せていただきありがとうございました。あなたたちが元気いっぱい踊る姿に、私たちも元気をもらいました」とあいさつし、集まった方たちからも大きな拍手が起こっていました。

大人も童心に返って川遊び

～久木野校区の花渡川で川上りを楽しむ

投稿者：菊野憲一郎さん（花渡川人の会・南さつま市津貫）

８月19日、南さつま市久木野校区の花渡川で川上りが行われました。久木野ふるさと学舎と校区子ども会が主催。

小・中学生、先生、保護者、花渡川人の会ら総勢30余名で新下木屋の高隈橋から下木屋の滝まで約７００㍍を、ダンマエビなどを取ったり昔の話をしたりしながらゆっくりと上流に向かって上りました。ゴールでは子どもたちが次々と滝に飛び込み（カメラごと川に落ちた大人も）川の魅力を体ごと楽しんでいました。

枕崎からも立神小１年の山神颯真君親子などが参加。猛暑の中、涼しくも熱い（ダンマ取りに熱中するお父さん）ひと時を過ごしました。

颯真君と久木野小１年の柏迫永遠君は最後尾をお父さんに連れられて、仲良く石を飛び越え、時にはすべって落ちたり、泳いだりしながら無事ゴールしましたが、ダンマ取りの網は二人ともお父さんに独占されてしまったようでした。「次回には、専用の網を持って・・・」と誓い合う二人でした。

消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」よろしく

～日本宝くじ協会から南薩地区消防組合に寄贈

このたび、日本宝くじ協会から、消火・通報訓練指導車（愛称「けすゾウくん」）が寄贈されました。

この「けすゾウくん」は、避難訓練、消火訓練などに出向き、消火器の取り扱いから119番通報のやり方まで実際に体験できる車で、車の後部には、そのための道具がぎっしり。ビデオでわかりやすく防災を学べるように、ビデオデッキやテレビまで搭載しています。

今後、防災意識向上のために、様々な機会に登場します。よろしくお願いします。